

第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管	文化観光	局	博物館	部	みはら歴史博物館	課
項目	2-11	みはら歴史博物館の管理運営手法の見直し				
実施内容	みはら歴史博物館はホールを併設した複合施設として、展示施設はもとより、地域住民のコミュニティの場としても提供しているが、館の活性化及び効率的な運営に向けて検討する。					
目標	<ul style="list-style-type: none"> 来館者数の向上 平成24年度 11,924人 ⇒ 平成29年度 15,000人 (平成28年度追記)					
工程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	
		館の活性化を図るため、ボランティアおよび他機関との連携を強化し、魅力的なイベントを開催する アンケートによる利用者ニーズの調査と定期的な認知度調査を実施する 館の運営にかかる経費や修繕経費など、ランニングコストの分析を行う 館の効率的な管理運営手法の検討を行う 関係機関への意見聴取を行う	学校等に働きかけを行い、郷土の歴史学習の発信を行う 前年度実施の利用者ニーズを踏まえたイベントを実施する 館の効率的な管理運営手法の決定及び実施に向けた事前準備を行う	館の効率的な運営開始		
進捗状況 (実績・見込)		26年度	27年度	28年度	29年度	
		ボランティアおよび他機関との連携を強化し、魅力的なイベントを開催する 市博物館等との連携のうえ学校等に働きかけを行い、特に子どもの集客増を図る 関係機関との連携により、館の認知度向上に向けた宣伝強化に努める ランニングコストの分析を行うとともに、館の効率的な管理運営手法の検討を行う 館の効率的な管理運営手法にかかる検討や庁内協議、関係者等との調整を行う	館の効率的な管理運営手法の決定及び実施に向けた事前準備を行う(運営開始:32年度以降)			
数値目標	入館者数	見込	26年度 16,000人	27年度 17,000人	28年度 18,000人	29年度 37,000人
		実績	22,856人	26,271人	35,606人	
実績	28年度	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等市民との協働による展示事業や体験事業のほか、ホールを活用したコンサート等の開催 他の文化施設との連携による子どもや新成人等を対象とした集客促進事業の実施 観光施策等との連携強化による、館の認知度向上と集客促進に係る取り組みの実施 以上により、年間入場者について35,000人超(目標18,000人)を達成 ・利用者サービスの向上及びコスト見直しの観点から、館の効果的効率的な運営について検討を継続				
単年度の 効果額見込 及び実績	見込	26年度 -	27年度 -	28年度 -	29年度 -	
	実績	1.5 百万円	13.9 百万円	3.0 百万円		
評価	28年度	B	課題	館の効率的運営にかかる関係課や関係団体との調整		
			改善策	利用者サービスの向上及びコスト見直しの観点から、館の効果的効率的な運営について検討をしながら関係課や関係団体との調整を継続する。		
評価基準		A:目標を上回って達成 B:目標を概ね達成 C:未達成				
備考	平成26年度に目標人数を達成したため、数値目標を変更しております。					